

## 本 編 2

# 公共交通とまちづくりのデッサン



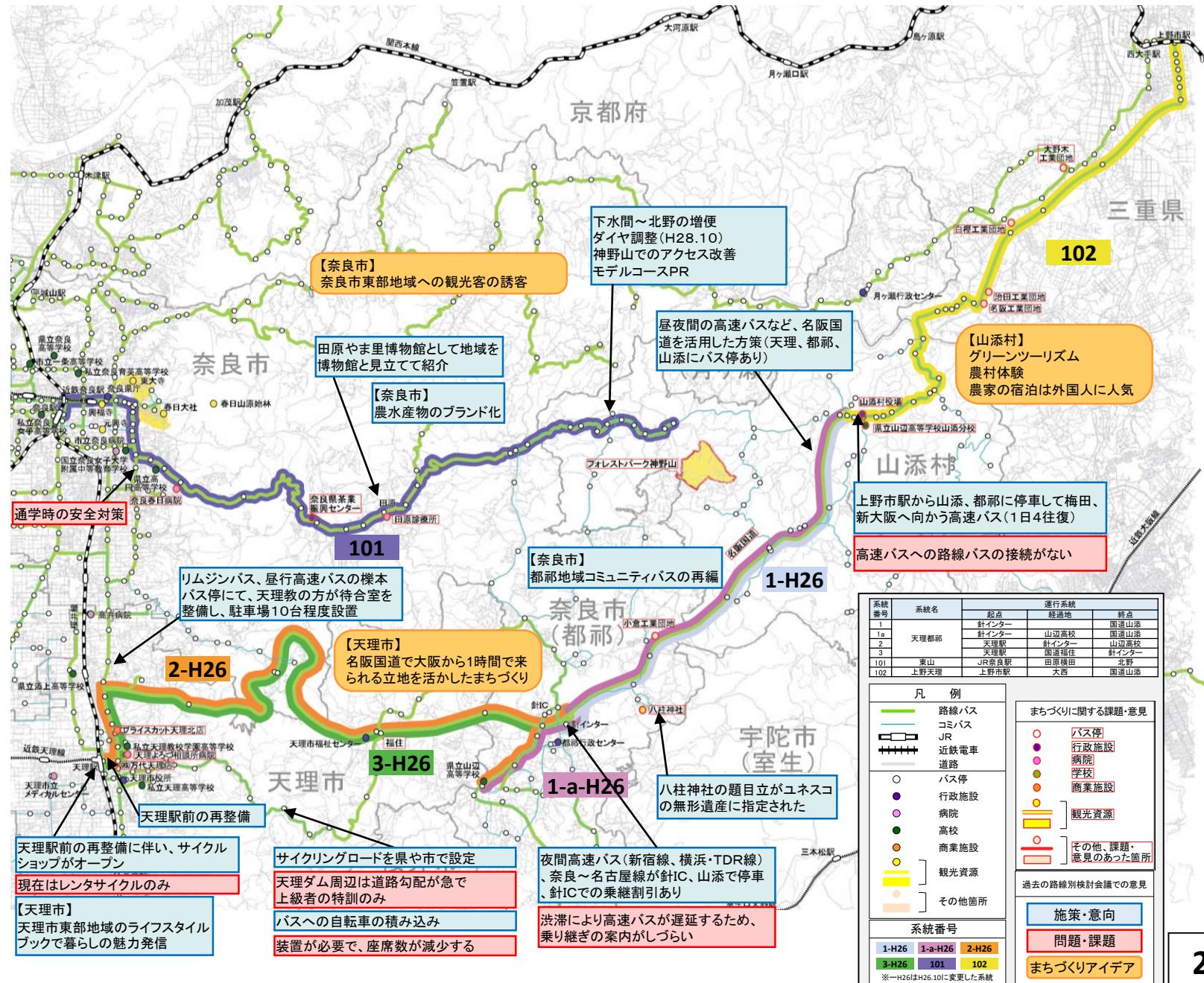
### 実施事業

事業103	路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 12 ~ H30. 3

事業104	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業105	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄奈良駅、JR奈良駅、東大寺大仏殿・国立博物館、県庁前、春日大社表参道、天理駅、憩いの家病院外来棟へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業106	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄奈良駅、登大路バスターミナル、県庁玄関ホールへのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3



系統番号	系統名	起点	運行系統	終点
1	天理都祁	針インター	経通地	園道山添
1a		針インター	山辺高校	園道山添
2		天理駅	針インター	山辺高校
3	東山	天理駅	園道福住	針インター
101		JR奈良駅	田原福田	北野
102	上野天理	上野市駅	大和	園道山添

**凡例**

- 路線バス
- コミバス
- JR
- 近鉄電車
- 道路
- バス停
- 行政施設
- 病院
- 高校
- 商業施設
- 観光資源
- その他箇所

**まちづくりに関する課題・意見**

- バス停
- 行政施設
- 病院
- 学校
- 商業施設
- 観光資源
- その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

**施策・意向**

**問題・課題**

**まちづくりアイデア**

系統番号

- 1-H26 1-a-H26 2-H26
- 3-H26 101 102

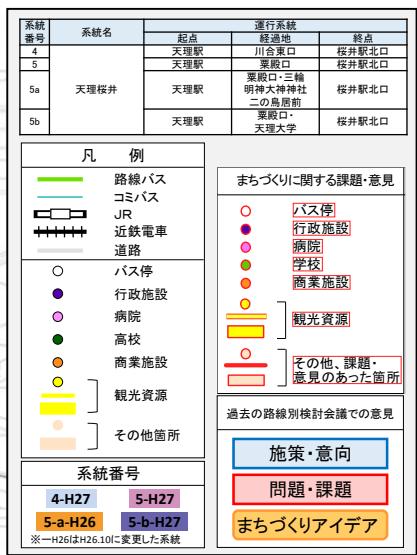
※1-H26はH26.10に変更した系統

### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「山の辺の道」への観光による誘客
関係市町村	天理市、桜井市、三宅町、田原本町
主な沿線施設	天理駅、巻向駅、三輪駅、桜井駅、大福駅、天理市役所、桜井総合庁舎、桜井市役所、天理市立メディカルセンター、天理よろづ相談所病院、済生会中和病院、天理大学、天理教校学園高校、天理高校、桜井高校、関西中央高校、山の辺の道、石上神社、念仏寺、天理市トレイルセンター、長岳寺、崇神天皇陵、景行天皇陵、纏向遺跡、大神神社、芝運動公園
評価指標	<b>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 出勤: 31.4%(H22)⇒31.4%(H32)      登校: 93.4%(H22)⇒93.4%(H32)      通院: 35.5%(H22)⇒35.5%(H32) 買物(平日): 29.1%(H22)⇒29.1%(H32)      買物(休日): 15.3%(H22)⇒15.3%(H32) 業務: 22.3%(H22)⇒22.3%(H32)      観光: 41.0%(H22)⇒41.0%(H32)
	<b>■外出率: 77.9%(H22)⇒77.9%(H32)</b>
	<b>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</b> 天理桜井線: 78,286人(H26) ⇔ 天理市・桜井市: 125,867人(H26)
	<b>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</b> 天理駅: 3,541,060人(H25) ⇔ 奈良市東部・奈良市都祁・天理市・山添村: 85,215人(H25) 桜井駅: 4,116,514人(H25) ⇔ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村: 72,106人(H25)
	<b>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 天理駅: 82.0%(H22)⇒82.0%(H32)      桜井駅: 79.6%(H22)⇒80.3%(H32)
<b>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</b>	

### 実施事業

<b>事業001</b> 公共交通の情報提供拡充の検討 実施内容: トレイルセンター等、ハイキング客への公共交通の情報提供箇所・手法の検討 実施主体: 天理市、桜井市、奈良交通 実施効果: 公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業005</b> 鉄道駅バリアフリー化 実施内容: 天理駅に内方線付点字ブロックを設置 実施主体: 近畿日本鉄道 実施効果: バリアフリー化の促進 実施期間: H29. 4 ~ H33. 3	<b>事業103</b> (仮称)奈良県国際芸術家村へのアクセスの検討 実施内容: 天理市杣之内地区に整備が検討されている(仮称)奈良県国際芸術家村のアクセスの検討 実施主体: 奈良県、天理市 実施効果: バス利用者数の増加、来訪者増による地域活性化 実施期間: H29. 4 ~ H33. 3
<b>事業002</b> 観光客の誘客に向けた交通確保の検討 実施内容: 路線バスを使ったモデルコースを設定してPR 実施主体: 天理市、桜井市、三宅町、奈良交通 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業007</b> 公共交通の利用促進 実施内容: 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体: 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果: 公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業104</b> 天理桜井線の再編 実施内容: 昼間の運行区間を憩の家病院まで延伸するとともに、早期・夜間の運行区間を箸中～桜井駅北口に短縮 実施主体: 奈良交通 実施効果: 公共交通利用者数の増加、利便性の向上、運行の効率化 実施期間: H29. 10 ~ H33. 3
<b>事業003</b> 路線運行費補助 実施内容: 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、天理桜井線の路線運行費を補助 実施主体: 奈良県 実施効果: 地域公共交通の維持 実施期間: H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)	<b>事業101</b> インバウンド限定周遊切符の発行 実施内容: インバウンド向けに周遊切符を作成し、英語版マップとあわせて、観光案内施設等で配布 実施主体: 桜井市 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 11 ~ H29. 9	<b>事業105</b> 天理市コミュニティバス運行事業の見直し 実施内容: 天理市コミュニティバスいちよう号を結崎駅及び仁興町に延伸するとともに、他市町との連携可能性の検討等を実施 実施主体: 天理市 実施効果: 運行の効率化 実施期間: H29. 4 ~ H31. 3
<b>事業004</b> ノンステップバスの導入 実施内容: 天理桜井線にノンステップバスを導入 実施主体: 奈良交通 実施効果: バリアフリー化の促進 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業102</b> 沿線企業モビリティマネジメント 実施内容: 沿線企業へ通勤行動についてバス利用への転換可能性把握及び働きかけ 実施主体: 奈良県、天理市 実施効果: 路線バスの利用者増加による路線の維持確保 実施期間: H29. 2 ~ H33. 3	



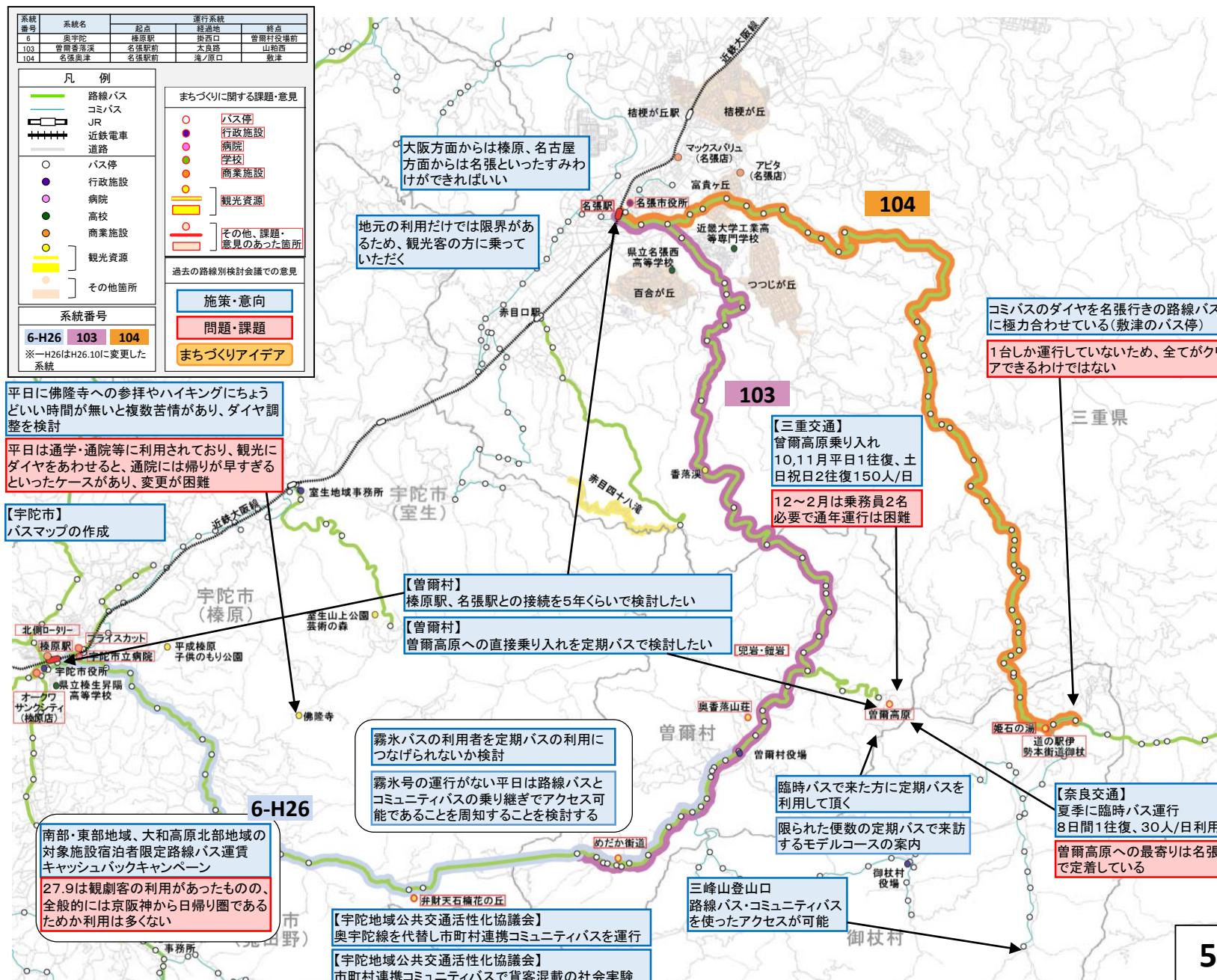


## 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「曾爾高原」を中心とした観光による誘客
関係市町村	宇陀市、曾爾村、御杖村
主な沿線施設	榛原駅、名張駅、宇陀市役所、曾爾村役場、名張市役所、宇陀市立病院、榛生昇陽高校、名張西高校、近畿大学工業高校、仏隆寺、奥香落山荘、赤目四十八滝、曾爾高原、姫石の湯
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 24.5%(H22)⇒24.5%(H32) 登校: 86.4%(H22)⇒86.4%(H32) 通院: 15.5%(H22)⇒15.5%(H32) 買物(平日): 15.7%(H22)⇒15.7%(H32) 買物(休日): 11.8%(H22)⇒15.2%(H32)</p> <p>業務: 17.0%(H22)⇒17.0%(H32) 観光: 23.1%(H22)⇒43.7%(H32)</p> <p>■外出率: 70.2%(H22)⇒70.2%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>奥宇陀線: 16,712人(H26) ⇔ 宇陀市榛原・曾爾村: 18,810人(H26) 曾爾香落溪線: 18,615人(H26) ⇔ 曾爾村: 1,676人(H26) 名張奥津線: 29,337人(H26) ⇔ 御杖村: 1,872人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅: 2,087,415人(H25) ⇔ 奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大字陀・曾爾村・東吉野村: 36,929人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅: 57.0%(H22)⇒57.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

## 実施事業

事業001	曾爾高原への路線バス乗入れ検討	事業005	路線運行費補助
実施内容	曾爾高原への路線バス直接乗入れについて、ニーズを含めて検討	実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、奥宇陀線、曾爾香落溪線、名張奥津線の路線運行費を補助
実施主体	曾爾村、宇陀市、御杖村、奈良交通、三重交通	実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、利便性の向上	実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)
事業002	路線バスのPR	事業007	公共交通の利用促進
実施内容	路線バスを使ったモデルコースを設定しPR	実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	宇陀市、曾爾村、御杖村、奈良交通、三重交通	実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4 ~ H33. 3
事業003	市町村連携コミュニティバスの運行	事業101	貨客混載の導入検討
実施内容	奈良交通奥宇陀線を代替して、宇陀市、曾爾村、御杖村が連携し、市町村連携コミュニティバスを運行	実施内容	奥宇陀線代替市町村連携コミュニティバスで貨客混載の導入検討のため社会実験を実施
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会	実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	地域公共交通の維持	実施効果	バスの生産性向上、物流網の効率化
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3	実施期間	H29. 10 ~ H30. 3
事業004	路線バスを活用した冬期誘客促進事業	事業102	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成	実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良県	実施主体	奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 12 ~ H30. 3	実施期間	H29. 4 ~ H32. 3





路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「うだ・アニマルパーク」や「道の駅大宇陀」、桜井市内の観光地を中心とした誘客
関係市町村	桜井市、宇陀市
主な沿線施設	桜井駅、榛原駅、桜井市役所、宇陀市役所、桜井病院、済生会中和病院、宇陀市立病院、関西中央高校、大宇陀高校、榛生昇陽高校、心の森総合福祉公園、大宇陀温泉あきののゆ、うだ・アニマルパーク、宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区、オークワサンクシティ
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤:30.9%(H22)⇒30.9%(H32) 登校:92.7%(H22)⇒93.9%(H32) 通院:30.8%(H22)⇒30.8%(H32) 買物(平日):26.9%(H22)⇒26.9%(H32) 買物(休日):13.2%(H22)⇒13.2%(H32)</p> <p>業務:20.2%(H22)⇒20.6%(H32) 観光:36.9%(H22)⇒36.9%(H32)</p> <p>■外出率:74.9%(H22)⇒74.9%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>大宇陀線:180,164人(H26) ⇄ 宇陀市榛原・宇陀市大宇陀:17,134人(H26) 桜井菟田野線:19,365人(H26) ⇄ 桜井市・宇陀市大宇陀:65,979人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅:2,087,415人(H25) ⇄ 奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大宇陀・曾爾村・東吉野村:36,929人(H25) 桜井駅:4,116,514人(H25) ⇄ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村:72,106人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅:57.0%(H22)⇒57.0%(H32) 桜井駅:79.6%(H22)⇒80.3%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

事業001	路線バスのPR
実施内容	ホームページ等でうだ・アニマルパークなど沿線施設へのバスでのアクセス方法をPR
実施主体	桜井市、宇陀市、奈良県、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業006	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業002	観光客の誘客に向けた検討
実施内容	沿線の大和さくらい100選や、道の駅宇陀路大宇陀周辺、宇陀松山地区等への誘客の検討
実施主体	桜井市、宇陀市、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

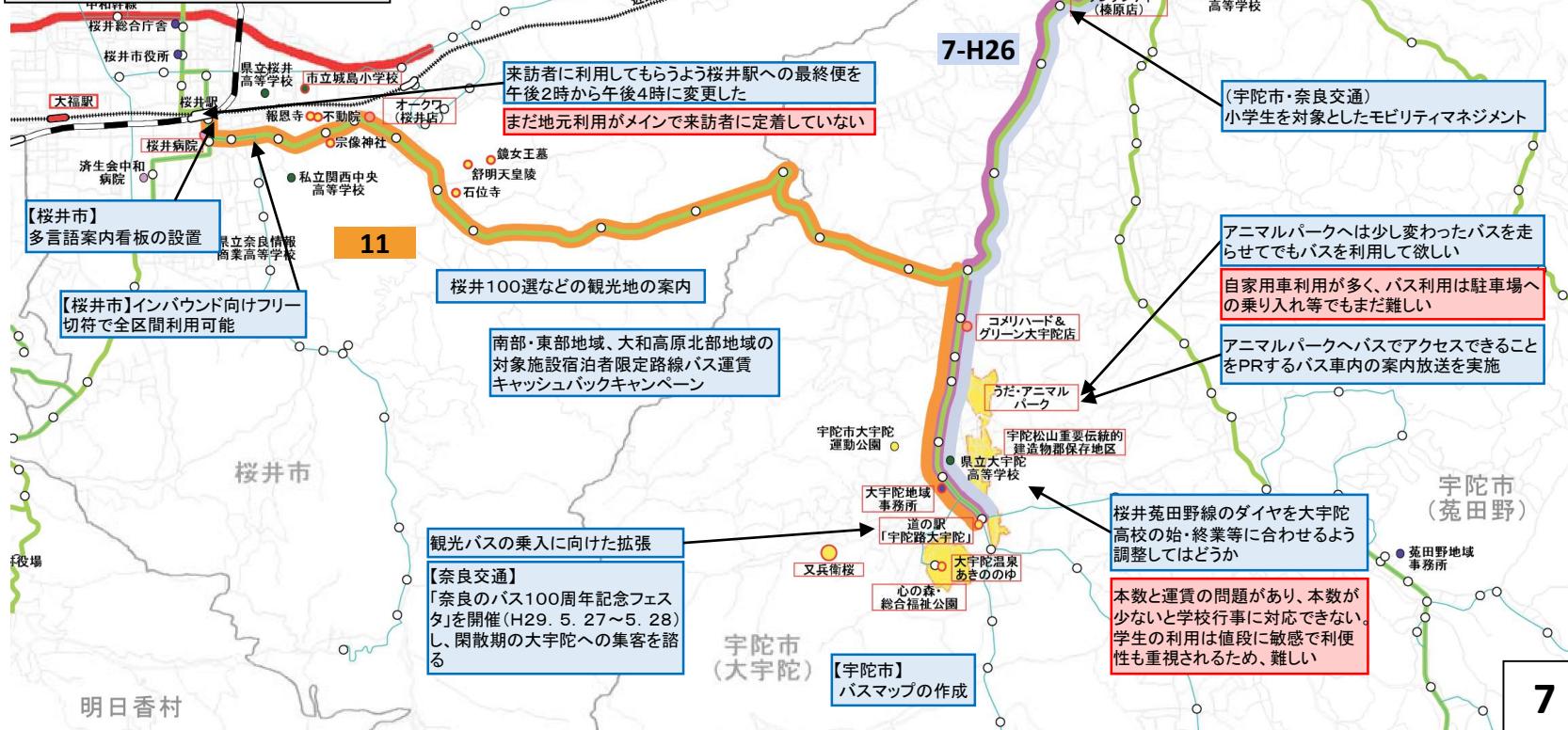
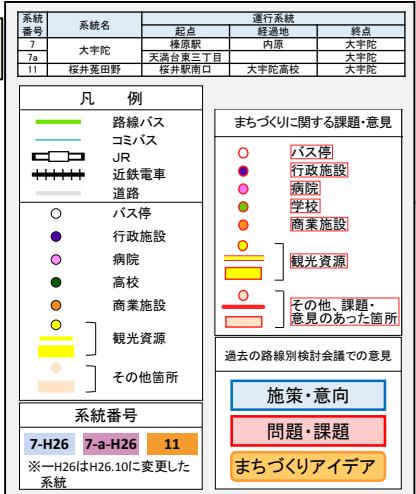
事業101	インバウンド限定周遊切符の発行
実施内容	インバウンド向けに周遊切符を作成し、英語版マップとあわせて、観光案内施設等で配布
実施主体	桜井市
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 11 ~ H29. 9

事業003	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、桜井菟田野線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)

事業102	多言語案内看板の設置
実施内容	桜井駅から各観光施設への交通手段を示す多言語案内看板の設置やコミュニティバスの路線ナンバリングの導入を検討
実施主体	桜井市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H30. 3

事業004	ノンステップバスの導入
実施内容	大宇陀線、桜井菟田野線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業103	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

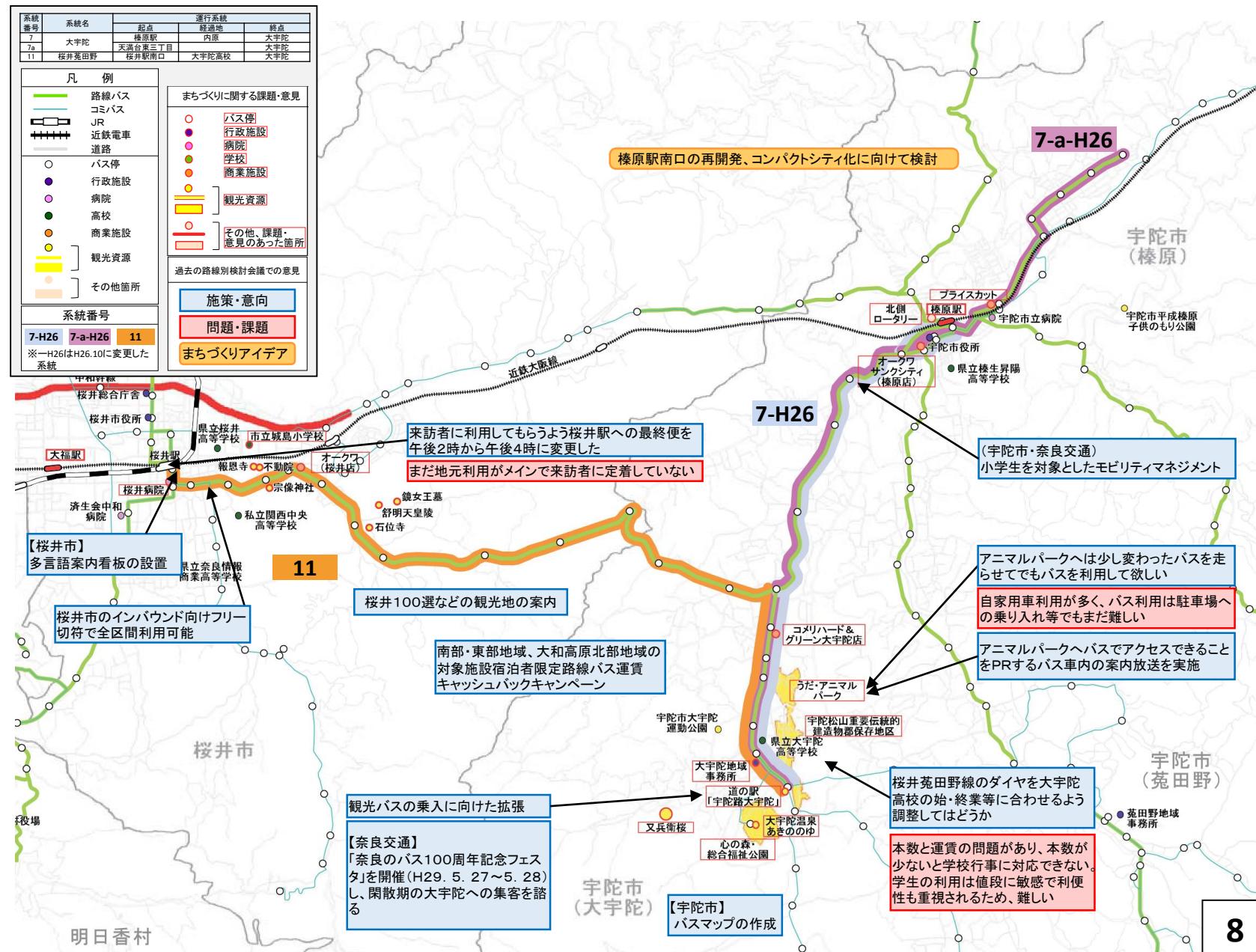


### 実施事業

事業104	バス情報表示装置の設置
実施内容	道の駅宇陀路大宇陀へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	宇陀市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業105	路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 12 ~ H30. 3

事業106	バス情報表示装置の設置
実施内容	榛原駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3



路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「高見山」の霧氷見学などへの誘客
関係市町村	宇陀市、東吉野村
主な沿線施設	榛原駅、宇陀市役所、菟田野地域事務所、東吉野村役場、宇陀市菟田野産業復興センター、奈良県高原農業復興センター、宇陀市立病院、榛生昇陽高校、奈良カエデの郷ひらら、高見山、宇陀水分神社、オークワサンクシティ
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 26.2%(H22)⇒26.2%(H32)      登校: 88.4%(H22)⇒88.4%(H32)      通院: 19.0%(H22)⇒19.0%(H32)</p> <p>買物(平日): 16.2%(H22)⇒16.2%(H32)      買物(休日): 12.2%(H22)⇒15.6%(H32)</p> <p>業務: 18.4%(H22)⇒18.4%(H32)      観光: 29.6%(H22)⇒50.1%(H32)</p> <p>■外出率: 70.2%(H22)⇒70.2%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>古市場線: 52,713人(H26)      ⇔      宇陀市榛原・宇陀市菟田野: 21,223人(H26)</p> <p>榛原東吉野線: 23,637人(H26)      ⇔      宇陀市榛原・宇陀市菟田野・東吉野村: 23,115人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅: 2,087,415人(H25)      ⇔      奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大宇陀・曾爾村・東吉野村: 36,929人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅: 57.0%(H22)⇒57.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

## 実施事業

事業001	路線バスのPR
実施内容	路線バスを使ったモデルコースを設定してPR
実施主体	宇陀市、東吉野村、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業006	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業002	路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 12 ~ H30. 3

事業101	交通拠点の整備
実施内容	東吉野村篤家に小さな道の駅を整備、榛原東吉野線を乗り入れし、コミュニティバスとの乗り継ぎ拠点とするため案内表示装置を整備、コミュニティバスは利用者増に対応し車両代替
実施主体	東吉野村、奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H29. 12月頃

事業003	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、榛原東吉野線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)

事業102	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業004	ノンステップバスの導入
実施内容	古市場線、榛原東吉野線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業103	バス表示装置の設置
実施内容	榛原駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

